



【市民参画プロジェクト】
ヒト×ヒカリ×2万人

みんな

二

多
久
駅
と
一
緒
に
ま
ち
を
も
つ
と
元
気
に
し
て
い
き
た
い。



賑わいの駅前を
「創る」

よ
う
て
見
ん
し
や
い
！
軽
ト
ラ
市
多
久

中心市街地の活気を取り戻そうと、平成23年6月に
筋原（あざみばる）商工連盟が開催した「軽トラ市多久」
は、朝早くから多くの市民で賑わう毎月の恒例イベン
トとして成長を遂げています。



毎月第2日曜日に多
久
駅
周
辺
で
開
催
さ
れ
て
い
る
「
軽
ト
ラ
市
」。
地
元
産
の
と
れ
た
て
野
菜
や
ま
ん
じ
ゅう、
そ
の
他
に
も
鮮
魚、
肉
類
が
市
価
よ
り
安
く
販
売
さ
れ
ま
す。



多久駅前広場を賑わいの一大拠点へ

中心市街地活性化事業の一環として、平成25年はサガン鳥栖パブリックビューイング、平成26年には、書道家山口芳水さんと多久市中の藤井啓輔さんとのコラボによる書道ライブとプロジェクションマッピングを開催。美しいイルミネーションの中、駅前広場は多くの参加者で賑わいました。



多久駅周辺賑わいまちづくり会議

多久駅周辺を住みやすく、賑わいのある、活気あるまちにするために必要なことについて話し合いを行っています。

もともと魅力的な駅前に、
女性も子育て世代もシニア世代も
産業リーダーたちもみんなで作る多久へー。



「ハピたくらぶ」代表

川原田 知章さん

「みんなをハッピーに。
そして、私たちもハッピーに。」

勢いを増す 世代を超えた 賑わいづくり

多久市には、まちに賑わいと潤いを創ろうと、イベントやまちづくりに積極的に参加する個人や団体が多数あり、総力でまちづくりに取り組んでいます。

多久まつりや多久山笠などのイベントへの参加をはじめ、こども見守り隊活動やあいさつ運動、多久聖廟の美化活動や特産品ブランドづくりなど、賑わいの創出のためにさまざまな世代が創意工夫をこらし、多岐にわたる活動を行っています。

老若男女の垣根を越えた賑わいづくりは、さらに勢いを増し、市民の輝く笑顔は多久市の明るい未来を照らしています。

まちおこしクラブ活動！ 「ハピたくらぶ」

20～30歳代が中心となって多久市を盛り上げたいと活動を行っています。活動を通して多久市も自分たちもハッピーになるように。それが「ハピたくらぶ」のモットーです。



賑わいづくり

多久まつりや多久山笠など、多久市のイベントは園児からお年よりまで、市民総出で演出します。商工会青年部の活動など、若い力も集結し、さらに賑わいを生み出しています